

日本維新の会長崎くみでございます。令和3年度決算審査にあたり、日本維新の会を代表いたしまして、別府議員、池田議員、私の3名で総括質疑を行います。先輩・同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご静聴賜りますようお願いいたします。

1.

令和3年一般会計の歳入・歳出決算額は2,320億円程度の規模となっており、当初予算より約200億円の増となっています。これは主に国庫補助金を財源とする子育て世帯臨時特別給付金(62億)と住民税非課税世帯等臨時特別給付金(61億)を追加実施したことによるものです。形式収支(歳入歳出差引額)は35億で翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は28億6200万円ですが、退職手当債や行政改革推進債(23億)、その他の市債(36億)の早期償還を行い更に基金への積立を加味すると収支の実態を表す実質単年度収支は103億7400万円の大幅黒字となっています。

①財政健全化への取り組みの成果が出ていると言えますが、令和3年度決算の分析と評価についてお聞かせください。

答弁

私は総括質疑を行うにあたり、本市における過去からの財政状況に関する資料をみてみました。本市は長い年月をかけて財政再建に取り組んできたことを知りました。本格的に財政の健全化に取り組んだのは平成15年度からの尼崎市経営再建プログラムからだと思います。かつてない危機的な状況は平成15年度から19年度までの5年間で約800億円もの収支不足が見込まれこのままでは財政再建団体への転落が避けられないほど厳しい状況に直面していました。令和4年度(本年度)に至るまで

[経営再建プログラム]

[あまがさき行財政構造改革推進プラン]
[あまがさき未来へつなぐプロジェクト]と20年間、常に行財政改革計画に基づいて財政健全化に努めてこられました。白井前市長の任期から始まり長い年月が経過していますが

②今日まで長期間に及ぶ財政健全化の取り組みについて稲村市長はどの様に評価し総括されるのでしょうかお聞かせください。

答弁

これまでの着実な行財政改革の取り組みにより、財政健全化は進展したといえます。このことは評価すべきことではあり、市長はじめ職員の努力の結果だと思えます。一方、市民の立場に立てば我慢を求めるものであり市民生活の身近なところにおいて

の影響を避けることはできない内容も多くありました。

事業を見直す改革改善項目によっては存続を求め議会に請願や陳情もあったと思います。お伺いいたします。今日まで財政を立て直す上で③市民生活の影響についてどの様に思われているのかまた、市民に対してどの様に理解を求めてこられたのでしょうか？お聞かせください。

答弁

平成 15 年からの経営再建プログラム以降、財政再建を最優先する中で改革改善項目を掲げ、実施されると共に種々の財源対策を行い予算編成されてこられました。改革改善項目には

効果額の大きいもので小中学校統廃合による学校跡地の土地売却など項目も金額も様々ですが、

④令和 3 年度決算まで、改革改善を予定通り実施した項目数と効果額についてお聞かせください。

答弁

2.

次に災害援護資金貸付金についてお伺いいたします。平成 7 年の阪神淡路大震災により被災した 4,002 名に対し市は総額で 68 億 2287 万円貸し付けています。令和 3 年度決算時点で未償還額は 9,432 万円となっています。県へ償還期限の延長を繰り返し、法改正で低所得者や連帯保証人に対して返済の免除が拡大されています。本市もこれまで、828 件、10 億 1,915 万円償還免除を受けています。生活を立て直すという本来の目的を考えれば区切りをつけることは大事で、返済を免除する議案に賛成してきました。要件が満たせば免除対象者になりますが⑥現在、免除対象ではない行方不明者等 8 名おられます。その他にも回収の目途が立たない人もいますかと思いますが現在、市としてどの様に完済に向け取り組まれるのでしょうか？お答えください

答弁

⑦令和 3 年度決算では収入済額が 752 万円で災害援護資金に関して業務コストが 1,875 万円となっております。すでに業務コストが大きく上回る事態が起きておりますが、費用対効果についての見解をお聞かせください。

答弁

災害援護資金は全半壊世帯などに最大 350 万円貸す制度で国が3分の2残りは都道府県または政令市が負担し市町村が貸付事務と回収を担っています。神戸市は新型コロナウイルスによる経済状況や高齢化で返済に苦しむ借主が増え回収が難しいと判断し未返済分の全 709 件、利息を含め約 11 億 5 千万円の返済を免除しています。

⑧本市でも債権放棄という選択肢は制度上可能なのでしょうか？また、本市の債権放棄について見解をお聞かせください。

答弁

3.

次に職員の超過勤務手当の支出の削減と民間の力の活用についてお伺いいたします。

職員の超過勤務の削減については、市の施策評価としてはワークライフバランスの観点で評価されていますが、人件費としての支出の面では評価が十分されていないのではないのでしょうか。

⑨本市の正規職員には、課長補佐までに超過勤務手当が支給されています。それぞれの基本給などに一定の割合が掛けられて、時間単価が出されています。対象となる職員の平日および休日の主な区分の平均単価をお聞かせください。

答弁

兵庫県の最低賃金額は、10月から32円引き上げられて960円になりました。単純な比較はできませんが、職員の超過勤務手当は高額であると感じます。先日の、台風による防災対応などでは、休日単価で支給されることになるかと思えます。

⑩超過勤務手当は、決められた基準に基づいて支給されるものであり、やむを得ない場合もあるかと思えますが、職員の超過勤務は、ワークライフバランスの観点だけではなく、人件費抑制の観点からも十分な検証がなされるべきだと思えます。では人件費抑制の観点から、職員の超過勤務をどのように検証しているのでしょうか聞かせください。

答弁

⑪これまでも、職員の超過勤務の見直しについては、様々に取り組んでこられたと思えます。事務事業全体で言うと必ずしも職員が担わなくてもよい業務があります。民間で出来る事は民間で行うことが経費削減や地域の活性化に繋がります。その結果、職員の負担軽減が図られます。これまでアウトソーシングなど進めてこられています

が今後、職員の働き方の改善について民間の活力をどの様に取り入れていかれるのでしょうか何か、具体的な計画があればお聞かせください。

答弁

4.

次に、「斎場の予約システムについて」お伺いします。

尼崎市の市立の斎場は弥生ヶ丘斎場があります。弥生ヶ丘斎場は、平成31年度には10炉から12炉に増設もされ、令和3年度は5,241件利用されており、市民へ幅広く利用されている斎場です。尼崎市で人がお亡くなりになると、市民から依頼を受けた葬儀会社が斎場の予約システムにより空いている日程を予約し、利用しております。

⑫ここでお願いします。現在の斎場予約システムで予約する方法を教えてください。

答弁

大阪市や神戸市では、空き状況がWebで一覧でわかり、そのまま予約ができるWebシステムになっています。

⑬ここでお願いします。尼崎市の電話やFAXでの予約システムに関して、事業者からはどのような声が上がっていますか。

答弁

また、この予約システムは平成31年に導入され、5年更新のため、次回の更新は令和6年4月からの予定です。事前の説明では、次の5年間も今のまま更新するという方向性だと聞いております。当局の説明によるとWeb予約にすると、主にセキュリティ面、コスト面、登録事業者への影響、の3点について課題があるとのことですが

⑭ここで1つずつお伺いします。

Webにより一覧で空き状況を確認し予約しても、電話とFAXのシステム内で予約管理をしても、どちらにせよセキュリティは重要な課題かと思いますが、具体的に何に課題があるのか教えてください。

答弁

⑮コスト面で言うと、例えば大阪市は令和5年度に斎場Webシステムを刷新して更新するとのことですが、イニシャルコストは750万円程度です。本市の電話とFAXのみの現システムの導入コストを教えてください。

答弁

⑯Web予約できるようになることによって、登録している事業者への影響は非常に限定的だと考えますが、具体的に課題だと認識していることを教えてください。

答弁

5.

次にデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進についてお伺いいたします。

令和3年度決算評価によりますと、令和3年度はICT専門員1名を採用し、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)活用により1年間で5,602時間の業務改善がなされたと報告があります。RPAとは人が行っている作業をパソコンで自動化し業務の効率化が図られることです。)

⑰そこでお伺いします。令和3年度にRPAにより業務改善された中で、業務改善効果が高かったもの(時間数と手間が改善)と反対に導入したもののまだ改善の余地があるものをお聞かせください。

答弁

情報セキュリティについてお尋ねいたします。⑱令和3年度の監査結果報告書に「情報セキュリティに関する自己点検」の取りまとめに係る不備が指摘されておりますが、この内容についてお聞かせください。

答弁

情報セキュリティに関する自己点検で監査事務局から改善の要請を受けていますがIT技術の発達で情報セキュリティも複雑化しています。先般のUSB紛失事件は人災によるセキュリティ対策の不備と言えますが、⑳その他にも情報セキュリティを取り巻く脅威についての認識と今後、本市として注意すべきことは何かお答えください。

答弁